

平成28年度老人保健健康増進等事業

＜適切なケアマネジメントを推進するための保険者機能のあり方に関する調査研究事業＞

株式会社三菱総合研究所

## 1. 事業目的

本事業では、「ケアマネジメント適正化推進事業（モデル事業）」と連携し、ケアマネジメント適正化推進事業を実施する市町村の取組みに関する効果検証等を行いつつ、自立支援に資する適切なケアマネジメントに関するガイドラインの作成等を行った。

## 2. 事業内容

### (1) WG等の設置・運営

#### ①ケアプラン点検支援マニュアル見直しWG

介護保険制度、ケアマネジメントに関する知見を有している学識経験者等、6名の委員により構成するWGを設置し、4回開催した。

#### ②モデル事業実施地域による進捗報告会

「ケアマネジメント適正化推進事業（モデル事業）」を実施する自治体担当者等（8自治体）により構成する進捗報告会を2回開催した。

### (2) 適切なケアマネジメントの考え方と保険者の関わり方の検討と検証

#### ①モデル事業に基づく検証

「ケアマネジメント適正化推進事業（モデル事業）」を行う自治体から情報を収集し、モデル事業の効果や今後の課題について整理した。

#### ②先進事例調査

適切なケアマネジメントの推進に関して積極的に取り組む自治体(市町村、都道府県)および介護支援専門員の協議会等、計13件のヒアリング調査を実施した。

## 3. 事業結果

### (1) ケアマネジメント適正化推進事業のまとめ

①多職種のケアマネジメント支援員によりケアプランと個別サービス計画の整合を確認、②点検前と点検を通して変更したケアプランに沿ってサービスを提供した後の状態の変化を認定調査の基本調査項目で比較、③保険者、地域包括支援センター、介護保険事業所連絡会が毎月顔を合わせて検討会を開催、④要支援認定者のアセスメント等にリハビリテーションを行う専門職が同行訪問、⑤市の地域包括ケア推進室が対応し介護予防ケアマネジメントマニュアル（仮称）を作成などの取組の状況や効果などが把握された。

### (2) 先進事例調査のまとめ

保険者による取り組みの内容と都道府県による支援の在り方、都道府県の介護支援専門員協会や主任介護支援専門員による専門的視点からの支援、三者の連携の形態などが把握された。点検の件数や質に関する地域差の解消、保険者の人事異動に影響されない点検の継続性の担保、点検に必要な人員の確保等が挙げられた。

### (3) ケアプラン点検支援マニュアルの付属資料の作成

ケアプラン点検を担当する自治体職員が、ケアプラン点検の基本姿勢、ケアマネジメントにおけるケアプランの位置付けや機能を理解できるよう、支援するための手引き「ケアプラン点検の基礎知識」を作成した。

今後の課題としては、本来のケアプラン点検の目的と適切な実施の普及に向け、適切なケアマネジメントの実現に向けた都道府県および保険者によるケアマネジメント支援のあり方、介護支援専門員の連絡会等の組織との連携のあり方について検討した。